

九月二十九日

再び李祖原と議論の連続。北京モルガンセンターよりファイナル工事進行スケジュール送附されてくる。今度はこちらが頑張らねばのプレッシャーがリアルに重くのしかかる。二〇〇七年六月に外側を全て完成させるスケジュールだ。つまり北京オリンピック一年前である。〇邸現場渡辺打合せを挟んで、午後もズーツと李祖原と話す。昨日、話し過ぎて、私はのどがいがらっぽくて調子いささか悪いが、李は今日もタフである。彼の持続力は驚くべきものがある。ある日、ごさかしい事考えついでても、それを何年も持続させる力こそが問題なんだ。十八時前、研究室発。早稲田リーガロイヤルホテルへ。李も同行。建築学科教室主催の村松映一さん竹中工務店代表取締役副社長就任祝賀会。百数十名を超えるOBが集まった。池原義郎先生に久し振りにお目にかかる事が出来た。

九月三十日

今日で九月も終わり。毎日がまばたきする間のスピードで過ぎ去って行く。

李祖原と打合わせ。胡倩の修論のテーマは面白そうだ。十五時より製図。李、鈴木了二、森川K、川上氏と共に。十八時八大西山社長、村瀬氏来室。打合せ。左官再生の件。十九時頃新大久保で会食。西山氏と村瀬氏は高校時代からの登山部仲間である。五〇年位の附合いになるのかな。八夕目に見てもその関係は良いも

のだ。李は明日、台北に戻る。彼とは打合せの連続の一週間であった。お互いに御苦労様。

十月一日

十一時打合せ。十四時半過修了。十五時半新宿にて打合せ。十六時半、野村と打合せ。彼女の良質な部分に触れるのは必要だ。弟子の成長を実感できないようでは、自分の存在もない。そんな意味では丹羽君ともゆっくり話さなければならぬ。今朝、再び家内から世田谷村日記止めなさいの忠告を受けるも、反発す。何故こんな恥をさらすのか、自分でも充分に考え抜き、かつ自覚していないが……。